

MultiPresenter アプリケーション (Android 用 /iOS 用)

ユーザーマニュアル

0

Ver. 1.2.0 対応



目次

1-1. 特長 2 1-1. 特長 2 1-2. 動作条件. 4 2. 本アブリのインストールと表示するファイルの転送 5 2-1. インストール 5 2-2. 表示するファイルを端末へ転送する 5 2-3. アブリ間のファイル共有を利用する 5 3. メニューについて 6 3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを消す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 3-1. メニューを表示する 7 4.1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4.1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4.2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5.1. ステータス表示 9 5.2. 発表者になる 10 5.3. 切断する 10 5.4. ターゲットデバイス 10 5.5. メディア 11 5.6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5.7. サスペンド / レジューム 12 5.9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5.10. 設定 13 5.11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6.1. インポート 14 6.2. 検索対象グループ選択 14 6.1. インポート 14	1 MultiProcenter の概要	2
1-1. 特長 2 1-2. 動作条件 4 2. 本アブリのインストールと表示するファイルの転送 5 2-1. インストール 5 2-2. 表示するファイルを端末へ転送する 5 2-3. アブリ間のファイル共有を利用する 5 3. メニューについて 6 3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを測す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5. メニューの詳細説明 9 5. メニューの詳細説明 10 5.3. 切断する 10 5.4. ターゲットデバイス 10 5.5. メディア 11 5.6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5.7. サスペンド / レジューム 12 5.8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5.9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5.10. 設定 13 5.11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6.1. インポート 14 6.2. 検索対象グループ選択 14 <		2
1-2. 動作条件. 4 2. 本アブリのインストールと表示するファイルの転送 5 2-1. インストール 5 2-2. 表示するファイルを端末へ転送する 5 2-3. アブリ間のファイル共有を利用する 5 3. メニューについて 6 3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを消す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5.1. ステータス表示 9 5.2. 発表者になる 10 5.3. 切断する 10 5.4. ターゲットデバイス 10 5.5. メディア 11 5.6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5.7. サスペンド / レジューム 12 5.9. 炭続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5.9. 炭続情報を隠す / 接続情報を表示する 13 5.11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6.1. インボート 14 6.2. 検索対象グループ選択 14 6.1. インボート 14 6.2. 検索対象グループ選択 14	1-1. 特長	2
2. 本アブリのインストールと表示するファイルの転送 5 2-1. インストール 5 2-2. 表示するファイルを端末へ転送する 5 2-3. アブリ間のファイル共有を利用する 5 3. メニューについて 6 3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを満す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 7 4.1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5.1. ステータス表示 9 5.2. 発表者になる 10 5.3. 切断する 10 5.4. ターゲットデバイス 10 5.5. メディア 11 5.6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5.7. サスペンド / レジューム 12 5.9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5.9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 13 5.11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6.1. インボート 14 6.2. 検索対象グルーブ選択 14 7. 注意・制限事項 15	1-2. 動作条件	4
2-1. インストール 5 2-2. 表示するファイルを端末へ転送する	2. 本アプリのインストールと表示するファイルの転送	5
2-2. 表示するファイルを端末へ転送する	2-1. インストール	5
2-3. アブリ間のファイル共有を利用する	2-2. 表示するファイルを端末へ転送する	5
3. メニューについて 6 3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを消す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5-1. ステータス表示 9 5-2. 発表者になる 10 5-3. 切断する 10 5-4. ターゲットデバイス 10 5-5. メディア 11 5-6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5-7. サスペンド / レジューム 12 5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 6-2. 検索対象グループ選択 14	2-3. アプリ間のファイル共有を利用する	5
3-1. メニューを表示する 6 3-2. メニューを消す 6 3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5-1. ステータス表示 9 5-2. 発表者になる 10 5-3. 切断する 10 5-4. ターゲットデバイス 10 5-5. メディア 11 5-6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5-7. サスペンド / レジューム 12 5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	3. メニューについて	6
3-2. メニューを消す	3-1. メニューを表示する	6
3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い 6 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する 7 4-1. インテリジェントコネクションを使用する 7 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する 9 5. メニューの詳細説明 9 5-1. ステータス表示 9 5-2. 発表者になる 10 5-3. 切断する 10 5-4. ターゲットデバイス 10 5-5. メディア 11 5-6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5-7. サスペンド / レジューム 12 5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	3-2. メニューを消す	6
 4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する	3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い	6
4-1. インテリジェントコネクションを使用する	4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する	7
 4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する	4-1. インテリジェントコネクションを使用する	7
 5. メニューの詳細説明	4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する	9
 5-1. ステータス表示	5. メニューの詳細説明	9
5-2. 発表者になる 10 5-3. 切断する 10 5-4. ターゲットデバイス 10 5-5. メディア 11 5-6. 全画面表示 / 分割画面表示 12 5-7. サスペンド / レジューム 12 5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	5-1. ステータス表示	9
5-3. 切断する	5-2. 発表者になる	10
 5-4. ターゲットデバイス	5-3. 切断する	10
5-5. メディア	5-4. ターゲットデバイス	10
5-6. 全画面表示 / 分割画面表示	5-5. メディア	11
5-7. サスペンド / レジューム 12 5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	5-6. 全画面表示 / 分割画面表示	12
5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン 12 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する 12 5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	5-7. サスペンド / レジューム	12
 5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する	5-8. ロックスクリーン / アンロックスクリーン	12
5-10. 設定 13 5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	5-9. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する	12
5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード 14 6. コネクションリストを編集する 14 6-1. インポート 14 6-2. 検索対象グループ選択 14 7. 注意・制限事項 15	5-10. 設定	13
 6. コネクションリストを編集する	5-11. Wi-Fi 接続用 QR コード	14
6-1. インポート	6. コネクションリストを編集する	. 14
6-2. 検索対象グループ選択14 7. 注意・制限事項	6-1. インポート	14
7. 注意・制限事項	6-2. 検索対象グループ選択	14
	7. 注意・制限事項	. 15
8 商標について 16	8 商標について	16

1. MultiPresenter の概要

1-1. 特長

●画像やカメラ映像の送信

MultiPresenter(以降「本アプリ」と記載します)は、当社の MultiPresenter Stick(DS1-MP10RX シリーズ) と無線 LAN を使って接続することにより、Android 端末、iPhone、iPad 内のファイルや写真、カメラの映像、ウェ ブページの画面などを無線 LAN を経由して送信し、ディスプレイやプロジェクターで表示することができます。 また、本アプリに対応しているプロジェクターをお使いの場合は、MultiPresenter Stick を使用せずに、無線 LAN を経由して Android 端末、iPhone、iPad 内のファイルや写真、カメラの映像、ウェブページの画面などを 送信することができます。

本書では、MultiPresenter Stick やプロジェクターをまとめて「受信機器」と呼んでいるところがあります。 また、Android 端末、iPhone、iPad をまとめて「端末」と呼んでいるところがあります。



●ミラーリングディスプレイ(Android 用のみ)

Android 端末で本アプリを使用しているときは、表示している画面を受信機器に送信することができます。この 機能を「ミラーリングディスプレイ」と呼びます。

●プレゼンテーションに効果的な、マーカー機能、ポインター表示、拡大縮小機能

◆マーカー機能

本アプリで表示している画像や文書に、マーカー機能で線や文字を書き込むことができます。 線や文字を書き込んだ画像や文書を画像として保存し、プレゼンテーションで再利用できます。



◆ポインター表示

注目させたい場所にポインターを表示できます。数種類のポインターの形を選択でき、スライダーでポインターの大きさを変えることができます。



◆拡大・縮小

ピンチイン・ピンチアウト操作で画面を拡大・縮小できます。



◆ページ切り替え

フリック操作でページ切り替えができます。



●マルチ画面表示

複数の端末で本アプリを起動し、各々から1台の受信機器へ画像を送信すると、マルチ画面表示が行えます。最大16画面(4行×4列)を同時に表示できます。このとき、受信機器は"マルチ画面表示"に対応している必要があります。



●複数の受信機器での同時表示

本アプリから複数の受信機器(最大5台程度)へ画像を送信し、各受信機器に表示することができます。



●アプリ間のファイル共有を利用

メール、ブラウザー、ファイル共有アプリなどで表示したファイルを、本アプリと共有して受信機器で表示するこ とができます。

●インテリジェントコネクション

PIN コード(4 桁の数字)を入力することによって少ない操作で無線 LAN を経由した接続を可能にする "インテリジェントコネクション"に対応しています。

インテリジェントコネクションを使って接続する場合は、MultiPresenter Stick やプロジェクター^注の無線 LAN のプロファイルを「インテリジェントコネクション」に設定してください。 注:「インテリジェントコネクション」に対応している機種に限ります。

●プロジェクター制御機能

プロジェクターと接続しているとき、本アプリのターゲットデバイス画面からプロジェクターの電源オフ、入力端 子切り替え、映像制御、音量調整、通信の切断などの制御を行うことができます。

● 11 言語対応

メニュー表示やガイドメッセージが次の11言語に対応しています。 英語、日本語、中国語(簡体字)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、スウェーデン語、 ロシア語、韓国語 このマニュアルに掲載している本アプリの画面は、英語にしています。

●マルチ OS 対応

Android 用、iOS 用のアプリの他、Windows 用、macOS 用のアプリもご用意しています。 Windows 用または macOS 用アプリは、当社の MultiPresenter のホームページからダウンロードしてください。

1-2. 動作条件

対応機種	MultiPresenter Stick(DS1-MP10RX シリーズ)
	MultiPresenter に対応した当社のプロジェクター
하다 이야	Android 5.0/5.1/6.0/7.0/7.1/8.0/9.0
	iOS 9/10/11/12
7 0/11 = +1 /	

その他、詳しくは、MultiPresenterのホームページをご覧ください。

2. 本アプリのインストールと表示するファイルの転送

2-1. インストール

2-1-1. Android の場合

① Google Play ヘアクセスし MultiPresenter アプリをダウンロードして端末にインストールします。

2-1-2. iOS の場合

① App Store ヘアクセスし MultiPresenter アプリをダウンロードして端末にインストールします。

2-2. 表示するファイルを端末へ転送する

2-2-1. Android の場合

① 端末とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

- 端末において、コンピューターからファイル転送を可能にするモード(MTP)に切り替えます。
 USB ストレージとして認識されます。
- ③ コンピューターのファイル管理ツールなどを使って、端末へファイルをコピーします。
- ④ コピーが完了したら、端末をコンピューターから外します。

2-2-2. iOS の場合

端末とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

- iTunes が起動し、同期が開始されます。
- iTunes で App を選択しファイル共有画面を表示します。
- ③ MultiPresenter を選択し、ファイルをドラッグ・アンド・ドロップします。
- ④「同期」または「適用」をクリックします。同期が開始され、ファイルが端末へ転送されます。
- ⑤ 転送が完了したら、端末をコンピューターから外します。

2-3. アプリ間のファイル共有を利用する

① 受信機器で表示したいファイルをメールアプリやファイル共有アプリで開いて表示します。

② "ファイル共有"の操作を行います。

注意

- "ファイル共有"の操作は、お使いの端末の OS やバージョンによって異なります。
- 本アプリで共有できるファイル形式は、12ページの「表示できるファイル形式」と同じです。
- コネクションリストのファイル(拡張子は「.ncp」)もファイル共有によりインポートできます。
- ③ 共有ウィンドウに表示されたアプリの中から「MultiPresenter」を選択します。
- ④ 本アプリが起動し、共有したファイルの内容が表示されます。

本アプリで表示された共有ファイルは、本アプリの「ファイル」内に自動的に保存されます。

3. メニューについて

3-1. メニューを表示する

本アプリの画面左上のメニューアイコン(==)をタップします。 または、画面の左端から右側へフリックします。



3-2. メニューを消す

メニュー以外の部分をタップします。



3-3. 通信接続状態に応じたメニューの違い

本アプリのメニューは、受信機器との接続状態に応じて次のように変わります。



注意

- 本アプリと受信機器が1対1で接続しているときは、「発表者になる」、「全画面表示/分割画面表示」は選択 できません。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているときや、MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」 モードを設定しているときは、「発表者になる」、「全画面表示/分割画面表示」、「ロックスクリーン/アンロッ クスクリーン」、「接続情報を隠す/接続情報を表示する」は選択できません。
- "マルチ画面表示"に対応していない受信機器に接続しているときや、複数の受信機器と接続しているときは、 「発表者になる」、「全画面表示/分割画面表示」、「サスペンド/レジューム」、「接続情報を隠す/接続情報を 表示する」は表示されません。

4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する

4-1. インテリジェントコネクションを使用する

注意

• 受信機器がインテリジェントコネクションに対応している必要があります。

4-1-1. MultiPresenter Stick と接続する

- MultiPresenter Stick をディスプレイやプロジェクターに接続し、電源を入れ、スタート画面を表示します。 手順については、MultiPresenter Stick のクイックセットアップガイドをご覧ください。
- ② 本アプリを起動します。
 - ターゲットデバイス画面が表示されます。
- ③ スタート画面に表示されている PIN コードを、ターゲットデバイス画面に入力します。

MultiPresenter Stick との接続が完了すると、本アプリの待機画面がディスプレイやプロジェクターから表示 されます。



4-1-2. プロジェクターと接続する

- ① プロジェクターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- プロジェクターのオンスクリーンメニューや HTTP サーバーでネットワーク設定画面を表示し、無線 LAN の プロファイルを「インテリジェントコネクション」に変更します。
- ③ プロジェクターの入力端子を「LAN」に切り替えます。 投写画面に PIN コードが表示されます。
 PIN コードは、オンスクリーンメニューの「情報」画面にも表示されます。
 ④ 本アプリを起動します。
- ターゲットデバイス画面が表示されます。
- ⑤ 投写画面に表示されている PIN コードを、ターゲットデバイス画面に入力します。 プロジェクターとの接続が完了すると、本アプリの待機画面がプロジェクターから投写されます。

重要

iOSの端末をお使いの場合、受信機器(MultiPresenter Stick やプロジェクターなど)と無線LAN で接続するには、 Wi-Fi の設定を行う必要があります。

iOS 端末の Wi-Fi の設定を行う方法は次の 2 つがあります。

- 方法 1:手動で Wi-Fi 接続を行う
- 方法 2:他の端末の MultiPresenter アプリで表示した QR コードを使用する
- ●方法 1:手動で Wi-Fi 接続を行う
- ① ホーム画面で「MultiPresenter」をタップします。

本アプリが起動し、ターゲットデバイス画面が表示されます。

② 受信機器のスタート画面またはオンスクリーンメニューに表示されている PIN コードを、ターゲットデバイ ス画面に入力します。

説明画面に切り替わります。

- ③「Wi-Fi 設定に進む」をタップします。
- ④ 端末の画面に表示されているネットワーク一覧から、スタート画面に表示されている SSID を選択します。
- ⑤ 端末にパスワード画面が表示されたら、スタート画面に表示されているセキュリティキーを入力し「接続」を タップします。
- ⑥ 選択した SSID と接続したら「設定」画面の左上に表示されている「MultiPresenter に戻る」をタップします。 または、ホームボタンを押してホーム画面を表示し、「MultiPresenter」をタップします。 本アプリが受信機器と接続し、受信機器において本アプリの待機画面が表示されます。

●方法2:他の端末の MultiPresenter アプリで表示した QR コードを使用する

| 注意:この方法は、iOS11 以降の端末でワンタイム PIN コード接続の場合に使用できます。

- ① 他の端末の MultiPresenter アプリを受信機器に接続します。
- ② 接続した端末の MultiPresenter アプリのメニューで「QR コード」を選択します。
 画面に QR コードが表示されます。(下の画面の QR コードは例です。実際とは異なります。)



- ③ これから受信機器に接続する iOS 端末のホームボタンを押してホーム画面を表示します。
- ④「カメラ」アプリをタップして、画面に表示されている QR コードにフォーカスを合わせます。 「カメラ」アプリの画面上部に「Wi-Fi QR コード ネットワーク"xxxxxxxx"に接続 」と表示されます。
- ⑤「カメラ」アプリの画面上部のメッセージ部分をタップします。
 「Wi-Fi ネットワーク"xxxxxxx"に接続しますか?」と表示されます。
- ⑥ [接続] をタップします。
- Wi-Fi の接続が切り替わります。
- ⑦ ホームボタンを押してホーム画面に戻り、「MultiPresenter」をタップします。
- ⑧ PIN コード画面が表示されたら、受信機器の画面に表示された PIN コードを入力します。

4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する

4-2-1. MultiPresenter Stick と接続する

- MultiPresenter Stick をディスプレイやプロジェクターに接続し、電源を入れ、スタート画面を表示します。 手順については、MultiPresenter Stick のクイックセットアップガイドをご覧ください。
- MultiPresenter Stick の設定メニューを表示して、無線 LAN のプロファイルを変更します。
 手順については、MultiPresenter Stick の Important Information をご覧ください。
- ③スタート画面に表示されている「接続情報」に従って、お使いの端末を接続します。
- ④ 本アプリを起動します。
- ターゲットデバイス画面が表示されます。
- ⑤ スタート画面に表示されている PIN コードをターゲットデバイス画面に入力します。

MultiPresenter Stick との接続が完了すると、本アプリの待機画面がディスプレイやプロジェクターから表示されます。

4-2-2. プロジェクターと接続する

- ① プロジェクターに無線 LAN ユニットを接続、または LAN ケーブルを接続し、電源を入れます。
- プロジェクターのオンスクリーンメニューや HTTP サーバーでネットワーク設定画面を表示し、無線 LAN または有線 LAN のプロファイルを変更します。
 手順については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- ③ プロジェクターのオンスクリーンメニューの「情報」画面に表示されるネットワーク設定に従って、お使いの端末を接続します。
- ④ 本アプリを起動します。
- ターゲットデバイス画面が表示されます。
- ⑤「デバイス選択」を選択し、一覧から受信機器を選択します。 プロジェクターとの接続が完了すると、本アプリの待機画面がプロジェクターから表示されます。

5. メニューの詳細説明

5-1. ステータス表示

本アプリの画面の右上に、状態を表すアイコンを表示します。

アイコンの表示		状	態	
	MultiPresenter Stick ます。	やプロジェクターなど	の受信機器と接続して	いない状態を表してい
	受信機器と接続してい 画面表示"に対応して ③は「発表者になる」 ③はロックスクリーン	る状態を表しています いることを表していま と「全画面表示」が選 状態を表しています。 います。 で:中 表しています。 ぎあることを表していま	。アイコンの左右の色 す。 訳できないことを表し ? :弱	が異なるのは"マルチ 、ています。
	複数の受信機器に同時 対応していない受信機	に接続していることを 器に接続していること	表しています。または を表しています。	"マルチ画面表示"に



複数の MultiPresenter から1 台の受信機器へ画像を送信しているとき、自分が送信している画像を全画面表示します。

注意

次のとき「発表者になる」は選択できません。

- 接続している受信機器が "マルチ画面表示"に対応していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- 本アプリと受信機器が1対1、または1対複数で接続しているとき。
- MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているとき。

5-3. 🗙 切断する

受信機器との接続を切断します。

5-4. ターゲットデバイス

本アプリを MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続するための画面です。

画面の下に「接続」と「制御」の2つのタブがあります。

「制御」タブの各ボタンは、プロジェクターと接続しているときに働きます。MultiPresenter Stick と接続しているときは「更新 ()」、「切断」、「サーバーを表示」ボタンのみ働きます。

【接続】タブ

PIN ⊐−ド	受信機器に表示されている PIN コード(4 桁の数字)を入力します。
デバイス選択	 同一ネットワーク上で見つかった受信機器、またはコネクションリストに登録してある機器のうち見つかったものを一覧で表示します。 接続する機器名をクリックします。 「複数選択」をクリックすると、受信機器一覧の左にチェックボックスを表示します。 灸をクリックすると一覧を更新します。 機器と接続すると、その機器名の右側に☆マークが表示されます。☆マークをクリックし、 黄色に変わると「お気に入り」に登録されます。 「IP アドレスで検索する」をクリックすると入力画面が表示されます。接続したい機器の IP アドレスを「XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。 「コネクションリストを編集する」については 14 ページをご覧ください。
お気に入り	☆マークを黄色にした機器が一覧で表示されます。 ☆マークをクリックし、黄色が白色に変わると、お気に入りが解除されます。
履歴	これまでに接続したことのある機器名が一覧(最大 10 件)で表示されます。接続した日時 が新しい順に上から表示されます。
ユーザー名	ユーザー名をクリックすると、ユーザー名の編集画面が表示されます。ユーザー名の文字数は、0~32文字です。
接続後にサスペ ンドする	受信機器と接続後にサスペンドするかどうかを設定します。(初期値はオフ)
全切断	受信機器と接続している状態のときに表示され、選択すると通信を切断します。

【制御】タブ

映像	ミュート(映像の消去)、フリーズ(静止)、表示が行えます。
音声	ミュート(消音)、再生が行えます。
音量	スライダーバーを動かして音量を変えることができます。
入力	入力端子を表示して切り替えることができます。 表示できる言語は、3 言語(英語、日本語、中国語(簡体字))のみです。それ以外の言語 の場合は英語で表示されます。
電源をオフ	プロジェクターの電源を切りスタンバイ状態にします。
切断	受信機器との通信を切断します。
サーバーを表示	ネットワークで接続している受信機器の WEB サーバーまたは HTTP サーバーを表示できます。

5-5. 🏧 メディア

ミラーリング ディスプレイ (Android 用のみ)	表示している画面を受信機器に送信します。
┫ ファイル	ファイルを選択して、その表示イメージを受信機器に送信します。マーカー機能、 ポインター表示、拡大縮小機能が使用できます。 対応しているファイル形式は次のページをご覧ください。
フォト	写真を選択して、その表示イメージを受信機器に送信します。マーカー機能、ポ インター表示、拡大縮小機能が使用できます。
דאל 🚺	内蔵カメラで撮影したイメージを受信機器に送信します。マーカー機能、ポイン ター表示、拡大縮小機能が使用できます。 受信機器と接続していないとき本機能は使用できません。
דַדָּל	ウェブブラウザーで表示したイメージを受信機器に送信します。 ウェブを使用するときは、端末をインターネットに接続できる無線 LAN にイン フラストラクチャで接続してください。

●表示できるファイル形式

Android	書類ファイル	Adobe Acrobat (.pdf) ^(注1)
	画像ファイル	JPEG 形式(.jpg/.jpeg)、PNG 形式(.png)、GIF 形式(.gif)、 Bitmap 形式(.bmp)
iOS	書類ファイル	Adobe Acrobat (.pdf) ^(i±1) , Mirosoft Word (.docx) ^(i±2) , Microsoft Excel (.xlsx) ^(i±2) , Microsoft PowerPoint (.pptx) ^(i±3) , iWork - Keynote (.key) ^(i±3) , iWork - Numbers (.numbers)
	画像ファイル	JPEG 形式(.jpg/.jpeg)、PNG 形式(.png)、GIF 形式(.gif)、 Bitmap 形式(.bmp)

注1: PDF1.7(Acrobat 8 互換)以降の形式に対応しています。古い形式の PDF を選択したとき、本アプリが 正常に動作しないことがあります。

注2:ロール紙のように縦長につながったイメージで表示されます。

注3:正しくページ切り替えができない場合は、ページ設定を行う必要があります。

その他の制限事項:

- 上記の条件を満たしているファイルでも、OS 標準の表示を行うため、正常に表示できない場合があります。
- パスワード付きのファイルは表示できません。
- アニメーション付きの画像は、最初のコマが表示され、アニメーションは表示されません。
- ファイル名の最大文字数は、OSの仕様に従います。

5-6. 📑 全画面表示 / 📑 分割画面表示

複数の MultiPresenter から1台の受信機器へ画像を送信しているとき、自分が送信している画像を全画面表示するか、分割表示するかを選択します。

注意

次のとき「全画面表示/分割画面表示」は選択できません。

- 接続している受信機器が "マルチ画面表示" に対応していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- 本アプリと受信機器が1対1、または1対複数で接続しているとき。
- MultiPresenter StickのWEBサーバーの「設定」やMultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、 MultiPresenterの「管理」モードを設定しているとき。

5-7. 📌 サスペンド / 📌 レジューム

自分が送信している画像を一時停止(サスペンド)するか、再開(レジューム)するかを選択します。

注意

次のとき「サスペンド/レジューム」は選択できません。

- 接続している受信機器が "マルチ画面表示"に対応していないとき。
- 本アプリが複数台の受信機器と接続しているとき。

5-8. 🔊 ロックスクリーン / 🔊 アンロックスクリーン

他のユーザーの MultiPresenter から受信機器を操作するのをロック(禁止)するか、アンロック(解除)するか を選択します。

注意

次のとき「ロックスクリーン/アンロックスクリーン」は選択できません。

- 本アプリから送信している画像を全画面表示していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- MultiPresenter StickのWEBサーバーの「設定」やMultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、 MultiPresenterの「管理」モードを設定しているとき。

5-9. 🗊 接続情報を隠す / 👔 接続情報を表示する

受信機器の画面に接続情報(PIN コード、SSID、セキュリティキー、デバイス名、WEB サーバーの URL)を表示するか、表示しないかを選択します。

注意

次のとき「接続情報を隠す/接続情報を表示する」は選択できません。

- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- MultiPresenter StickのWEBサーバーの「設定」やMultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、 MultiPresenterの「管理」モードを設定しているとき。
- 受信機器によっては、接続情報を表示できないものがあります。

5-10. 🔅 設定

本アプリの設定を行います。 「画像」、「検索」、「待機画像」、「このアプリについて」の4つのメニューがあります。

【画像】

画質	送信する画像の画質を設定します。画質を下げると送信する速度が 速くなります。
送信画像を出力解像度に拡大する	送信する画像の解像度を受信機器の出力解像度に応じて拡大するか
(Android 用のみ)	を設定します。(初期値はオン)

【検索】

ブロードキャストを用いて検索	受信機器を検査する際、ブロードキャストを用いてローカルネットワークを
する	検索するかどうかを設定します。(初期値はオン)
コネクションリストを用いて検	受信機器を検索する際、コネクションリストを用いて検索するかどうかを設
索する	定します。(初期値はオン)
インテリジェントコネクション を使用する(Android 用のみ)	インフラストラクチャを使用する場合に、オフにすることで、インテリジェ ントコネクションの動作を抑止できます。(初期値はオン) 注意 • オンになっていると、指定した PIN コードの受信機器がインフラストラ クチャで見つからない場合、インテリジェントコネクションが動作します。

【待機画像】

デフォルト	
ブルー	
ブラック	- 本アノリの付機画面に衣示される画像を迭折しま9。(初期値はナノオルト)
ユーザー画像	

【このアプリについて】

バージョン	「MultiPresenter」の下に本ソフトのバージョンが表示されています。
ライセンス情報	ライセンス情報画面を表示します。
チュートリアル	本アプリの紹介画面を表示します。

5-11. 🎇 Wi-Fi 接続用 QR コード

本アプリが受信機器とインテリジェントコネクション(ワンタイム PIN コード)で接続している場合に、iOS の端末で Wi-Fi 接続する際に利用可能な QR コードを表示します。

QR コードを iOS 端末のカメラアプリで撮影することで、MultiPresenter アプリ(iOS 用)において、これまで 手動で切り替えていた Wi-Fi 接続を自動で行うことができます。(→ 8 ページ参照)

注意

• この機能は iOS11 以降の端末を受信機器と Wi-Fi 接続する際に利用できます。

6. コネクションリストを編集する

コネクションリストを使用すると、複数の受信機器をグループ化し管理することができます。例えば、会議室や教 室ごとに受信機器を設置している場合などに、各受信機器の IP アドレスをコネクションリストに登録しておくと、 受信機器の検索が素早く行えるので便利です。

コネクションリストに受信機器を登録すると、本アプリで自動検索することができます。検索したい受信機器をグループで絞り込むこともできます。

重要

 本アプリではコネクションリストを作成することはできません。まず、MultiPresenter アプリケーション (Windows 用/ macOS 用)を使ってコネクションリストを作成し、エクスポートしてください。

6-1. インポート

インポート	コネクションリストのファイルを読み込みます。読み込めるファイルの拡張子は「.ncp」 のみです。
	また、コネクションリストのファイルは、アプリ間のファイル共有を利用してインポー トすることもできます。(→5ページ参照)

6-2. 検索対象グループ選択

グループリスト	検索の対象とするクループにチェックマークを付けます。
全てのチェックを外す	すべてのチェックマークを外します。
全てのチェックを付ける	すべてのグループにチェックマークを付けます。

注意

 本アプリのコネクションリストは、Image Express Utility 2.0、および Image Express Utility Lite の接続 先リストとは互換性がありません。

7. 注意・制限事項

 iOSの場合、本アプリがバックグラウンドに移行すると、受信機器との通信が切断されます。そのため、その 状態のまま時間が経過すると、受信機器側のセキュリティキーが自動的に変更され、再接続が正常に行えない 場合があります。

このような場合は、端末の Wi-Fi の設定で、受信機器のパスワード設定をやりなおしてください。

- iOSの場合、Wi-Fi設定時に正しいネットワークを選択して正しいパスワードを入力してもネットワークに接続できないことがあります。その際は、ネットワーク名の右横の情報ボタン(

)をタップして「このネットワーク設定を削除」を行ってください。そのあと再度Wi-Fiの設定をやりなおしてください。
- 本アプリの「メディア」→「ウェブ」を選択するときは、インターネットに接続できる無線 LAN にインフラストラクチャで接続してください。インテリジェントコネクションまたは簡易アクセスポイントで接続しているときは、「ウェブ」を選択すると、Web シェアリング画面が表示されます。
- Android 端末によっては、インテリジェントコネクションが正常に動作しない場合があります。
 その場合は、Wi-Fi 設定を手動で行い、ターゲットデバイス画面の[デバイス選択] タブを表示して受信機器
 を選択してください。
- Android 6.0 以上の端末でインテリジェントコネクションを使用する場合は、端末の位置情報を有効にしてください。

8. 商標について

- MultiPresenter は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける登録商標または商標です。
- Android、Google Play は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- Apple、macOS、OS X、iPhone、iPad、iTunes、iWork、Keynote、Numbers は、米国および他の国々で 登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのこと がありましたらご連絡ください。
- (4)本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる 責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© NEC Display Solutions, Ltd. 2016-2018 2018 年 11 月 4 版 NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。